

HTML TIPS & TRICKS

第 8 回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

藤井幸孝 白畑真

毎日のように増え続けるウェブページの中で、どうすれば目立つ存在になれるか。これが、ウェブマスターにとっての永遠の課題だ。デザインはもちろん、どんなコンテンツが見られるか、聞けるかといったことが重要になる。リアルオーディオやリアルビデオからインタラクティブな仕掛けまで、今月も、アクセス数倍増間違いなしのCOOLなTIPSとTRICKSを満載でお届けする。

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(7月10日現在)。これを参考に、使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



インターネットエクスプローラ4.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0以上



8月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

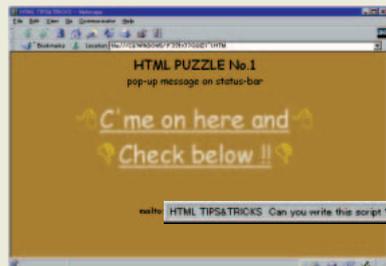
2か月連続でJavaScriptを使ったパズルを出題させていただいた。もはや、JavaScriptは難しくないのか? そう感じてしまうほど、正解者の数は多かった。中には、「今月こそ名前を載せて」なんていう熱いチャレンジャーもいた。おめでとう、三浦さん。それでは、8月号「ポップアップメニューを制する」の解答を発表しよう。



ANSWER ① ステータスバーにポップアップ!

ステータスバーは「window.status」と表す。あとは「onMouseOver」という命令文を使って、ここに文字が表示されるようにすればよい。マウスマウスカーソルが載っているときだけ文字を表示するように「onMouseOut」まで作れば完璧だ。「return true」を忘れると表示のタイミングがおかしくなるので注意しよう。

```
<A HREF="#"
onMouseOver="window.status='HTML TIPS&TRICKS Can
you write this script?';
return true;";
onMouseOut="window.status="">
```



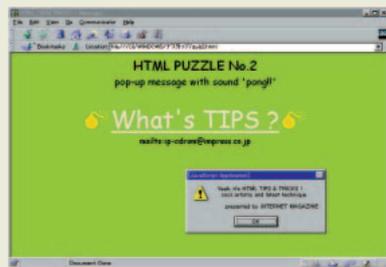
正解者の方々: 石山フミオさん、三浦雅和さん、相澤治郎さん、おたけさん、吉本克彦さん、岩崎典生さん、山本達郎さん、ほか



ANSWER ② 「ポン」と鳴るポップアップ!

JavaScriptの「alert()」を使えば簡単にできてしまう。ANSWER 1も同じだが、メッセージは「」でくるようにする。alertのメッセージの中に改行を入れたい場合は「¥n」と書いておけばよい。

```
<A HREF="#"
onMouseOver="alert('Yeah, it¥'s HTML TIPS & TRICKS !
¥n cool, artistic and latest technique
¥n¥n presented by INTERNET MAGAZINE!')">
```



正解者の方々: 石山フミオ、三浦雅和さん、相澤治郎さん、吉本克彦さん、岩崎典生さん、毛利伸二さん、山本達郎さん、ほか

リアルオーディオのストリーミング放送を流す



URL <http://www.impress-radio.com/>

(疑似ストリーム URL <http://www.watch.impress.co.jp/pc/docs/article/radio/>)



ホームページから音楽や映像を配信したいと思ったことはないだろうか。でも、AVIやWAV、QuickTimeなどのサイズが大きなファイルを使うのは避けたい。こんなときこそ、データをダウンロードしながら同時に再生できるリアルオーディオとリアルビデオの定番だ。今まで、リアルオーディオなんて一般のユーザーには手の届かない仕掛けだとあきらめていた人も多かったろう。今月のTIPS第1弾は、なんと、専用のサーバーを使わずにリアルオーディオやリアルビデオのストリーミングを流すというウェブマスター必見のテクニックだ。これだけで、ホームページがマルチメディアステーションになる。



1 リアルオーディオ・メタファイル(*.ram)

<http://www.impress.co.jp/user/ra/sample.ra>

2 ページ内

```
<A HREF="sample.ram">
ここをクリックすると音楽が流れます
</A>
```

POINT

このTIPSを使う前に、ホームページ開設サービスを行っているプロバイダーがリアルオーディオとリアルビデオの使用を許可しているかどうかを確認してほしい。ここで紹介するTIPSは、HTTPサーバーの機能だけでストリーミング再生を可能にする「疑似ストリーム(HTTP Pseudo-Streaming)方式」を使っている。プロバイダーがこれに対応していることが必須となる。本誌5月号のプロバイダー特集に詳しい情報が掲載されているので参考にしてほしい。確認が済んだら、プログレッシブネットワーク社のホームページからエンコーダーをダウンロードして、リアルオーディオ、ビデオファイルを作成する。疑似ストリーミングに対応しているのは、リアルオーディオエンコーダー3.0とリ

アルビデオエンコーダーだ。

<http://www.real.com/products/encoder/>から、最新のものを入手しよう。作成したファイル(オーディオは*.RA、ビデオは*.RM)をサーバーに置く。次に、エディターなどでメタファイルと呼ばれるテキストファイルを作成する。内容は①の

```
http://www.impress.co.jp/user/
ra/sample.ra
```

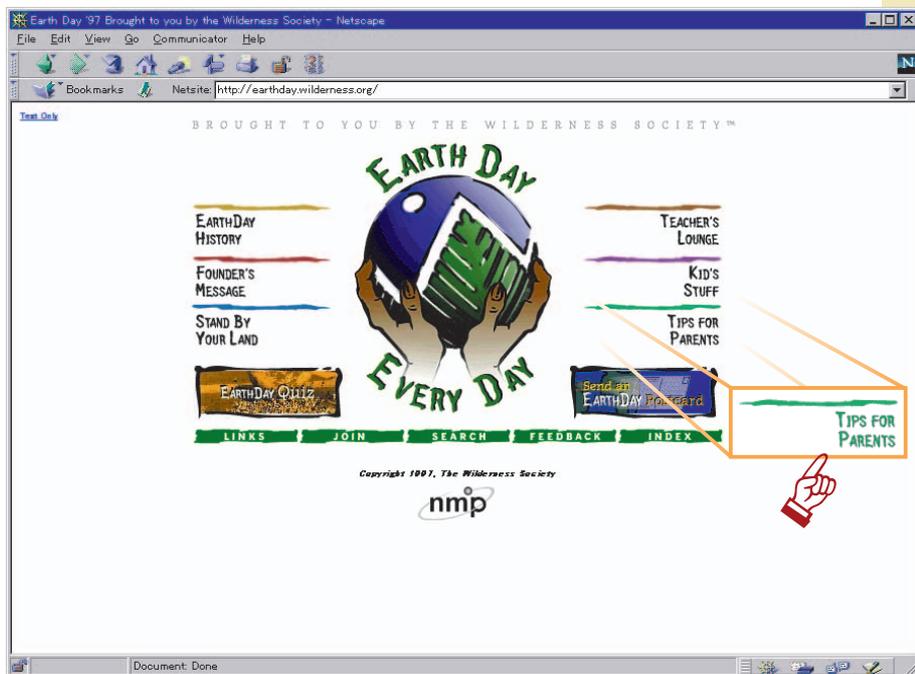
のように、RAファイルやRMファイルのURLだけを記述すればよい。ポイントは、必ず絶対パスを使うということだ。「/ra/sample.ra」のように相対パスではうまく再生できないことがあ

る。このメタファイルは拡張子を「*.RAM」として保存する。最後にページ内の好きな場所にこのメタファイルへのリンクを作成する。これは①の

```
<A HREF="sample.ram">
ここをクリックすると音楽が流れます
</A>
```

のように、通常のアンカータグを使えばよい。これで完成だ。このリンクをクリックすればマルチメディアのストリーミング再生が始まる。自分だけのラジオ局やテレビ局を作ること夢じゃない。

カーソルの移動で画像を変化させる



URL <http://earthday.wilderness.org/>



```
<A HREF="index.htm"
onMouseOver="document.images['button'].src='image_change.gif';"
onMouseOut ="document.images['button'].src='image.gif';">
<IMG NAME="button" SRC="image.gif" BORDER=0></A>
```

POINT

たった4行のJavaScriptで疑似フラッシュボタンができてしまう。まずは「IMG」タグの内容を見てみよう。

```
<IMG NAME="button" SRC="image.gif"
BORDER=0>
```

これで、ページを読み込んだ際に「image.gif」が表示される。これをマウスのカーソルの動きに合わせて別の画像に変化させたい。このために「NAME="button"」を記述して、この画像の部分に名前を付けておく。次に、

```
<A HREF="index.htm"
onMouseOver="document.images
['button'].src='image_change.gif';"
```

を見てみよう。「A HREF」で前述の画像をクリックすると、「index.htm」にジャンプするというリンクができる。ポイントは次の「onMouseOver」の部分だ。これは「マウスカーソルを載せたら」を意味している。次の「document.images」は、任意の画像を呼び出すスクリプトで、ここでは「src=」以降の「image_change.gif」が表示されることになる。「button」は先に定義した画像の部分に付けた名前と同じものにする。これで、「image.gif」にカーソルを載せると「image_change.gif」に変化するという仕掛けができたわけだ。次は、画像からカーソルをはずしたときに再び「image.gif」に戻るようにしたい。そこで「onMouseOut」が登場する。これは「マウスカーソルがこのスポットから外れたら」を意味している。結果は「src=」以降の「image.gif」に戻る。これで完成だ。



MSNのホームページでおなじみの「マクロメディアフラッシュ」を使ったサイトが増えている。その多くは、あるスポットにマウスカーソルを載せると、画像が変化してボタンを押したような効果が出るという仕掛けになっている。一度は自分のページで使ってみたいと思うものの、高価な作成ツールを買ったり使い方を覚えたりと、ハードルは高い。そこで、左のページを見てほしい。ここでも、カーソルの移動で画像が変化するという仕掛けを使っている。ただし、フラッシュではなくHTMLだけで処理しているのだ。今月の第2弾、これがフラッシュいらずのインタラクティブなTIPSだ。

エクスペローラ3.0ユーザーのために

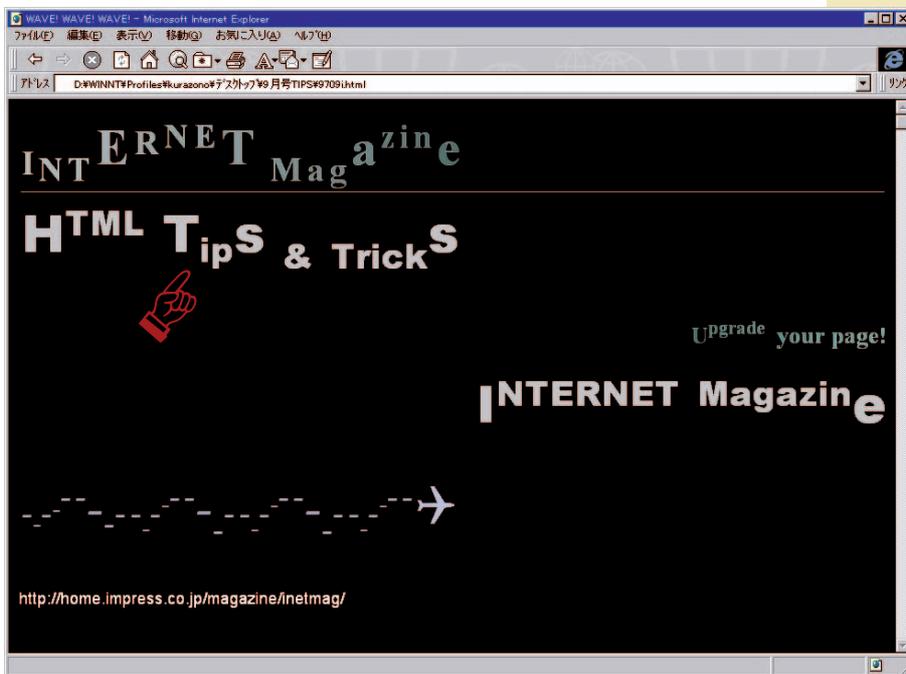
このTIPSは、エクスペローラ3.0ではエラー画面が表示される。これを防ぐために、ナビゲーター3.0以上を使っている場合だけスクリプトが有効になるようにしよう。

```
if (navigator.appVersion.substring(0,1) >= 3)
```

を加えれば完璧だ。

```
<A HREF="index.htm"
onMouseOver="if (navigator.appVersion.
substring(0,1) >= 3)
document.images['button'].src =
'image_change.gif';"
onMouseOut ="if (navigator.appVersion.
substring(0,1) >= 3)
document.images['button'].src =
'image.gif';">
<IMG NAME="button" SRC="image.gif"
BORDER=0></A>
```

文字をウェーブ状に配置する



マイクロソフトに付属する「ワードアート」という機能を使うと、文字列を円にそって曲げたり、右上がりや右下がりに変形させたりできる。ホームページでも、タイトルなどにこのような加工された文字を使うことが多いが、たいていは表示に時間のかかる画像を使用することになる。でも、ページが表示される際にタイトルだけが遅れて現れるというのは見ていて気持ちがいいものではない。そこで、左の図を見てほしい。なんと、このページでは画像を使わずに文字をウェーブ状に配置しているのだ。それでは、また1つ画像を使う機会が減りそうな、COOLなTIPSを紹介しよう。



下げる

```
<SUB>
<FONT COLOR="#B5BEBF" SIZE="7">I</FONT>
</SUB>

<SUB><SUB>
<FONT COLOR="#AFB9BA" SIZE="7">N</FONT>
</SUB></SUB>
```

上げる

```
<SUP><SUP>
<FONT COLOR="#97A5A6" SIZE="7">N</FONT>
</SUP></SUP>

<SUP>
<FONT COLOR="#91A0A1" SIZE="7">E</FONT>
</SUP>
```

POINT

このTIPSの秘密は、普段はあまり使わない文字を上げ下げするタグにある。さっそく内容を見てみよう。

```
<SUB><FONT COLOR="#B5BEBF"
SIZE="7">I</FONT></SUB>
```

```
<SUP><FONT COLOR="#91A0A1"
SIZE="7">E</FONT></SUP>
```

<SUB>タグは、文字の位置をベースラインから下げて下付きにする。反対に<SUP>タグは、文字の位置をベースラインから上げて上付きにする。通常、これらのタグは指数や脚注、または™や(®)などの特殊記号を表示するために用いる。これを利用して、文字がウェーブ状に並び、バナーを作ってしまうというわけだ。ただし、単に

<SUB>と<SUP>でくっただけでは、上げ下げした文字が小さくなってしまふ。そこで「FONT」タグを使って1文字ごとにサイズを固定しておく。さらに、

```
<SUB><SUB>
<FONT COLOR="#AFB9BA" SIZE="7">
N</FONT></SUB></SUB>
```

```
<SUP><FONT COLOR="#91A0A1"
SIZE="7">E</FONT></SUP>
```

のように入れ子にしていけば、2文字目は1文字目より下(上)に、3文字目は2文字目よりさらに下(上)に配置される。これを繰り返せば、ウェーブ状のバナーができあがる。あとは、センス次第。自分だけのカッコいいタイトルを作ってみよう。

グラデーションもかけてしまおう

本誌7月号のこのコーナーで紹介した「文字にグラデーションをかける」のTIPSを思い出してほしい。実は、上図のサンプルでは文字をウェーブ状に配置したうえに、グラデーションもほどこしているのだ。

```
<SUB>
<FONT COLOR="#B5BEBF" SIZE="7">I</FONT>
</SUB>
```

```
<SUB><SUB>
<FONT COLOR="#AFB9BA" SIZE="7">N</FONT>
</SUB></SUB>
```

このように、このコーナーで紹介するTIPSのいくつかを組み合わせれば、効果100倍だ。

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

壁紙を制する

7月号のこのコーナーでは「背景色」に関するパズルに挑戦していただいた。背景色とくれば次は「壁紙」だ。HTMLを覚えたてのころには、背景に画像を使うことが楽しくて頻繁に使ってしまう。ところが、実際にサーバーに上げてみると、表示速度の遅さに気が付いて「やっぱりやめた」ということになりがちだ。そこで、もっとかっこいい壁紙の使い方を考えてみたい。それも、あっと驚くような効果的なものもいい。今月は、この「壁紙」に挑戦していただく。トリックが分かったらすぐに解答を送ってほしい。正解者にはダイレクトプラスを発行させていただきます。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“壁紙を制する”にチャレンジ！

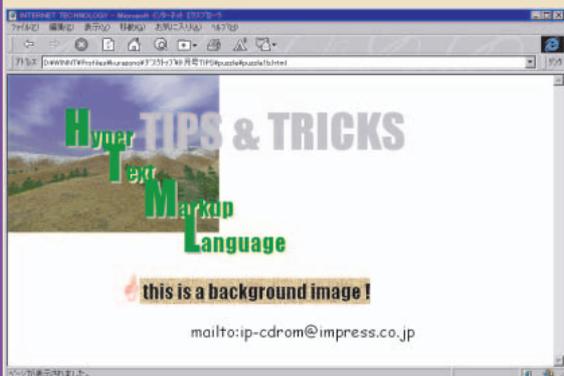
「HTMLパズルに挑戦しよう」

宛先

正解が分かった人も、分からなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ずHTML TIPS & TRICKSの1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp

QUESTION 1 壁紙を1枚だけ表示させる！



3月号のこのコーナーで、背景画像を左サイドだけ、あるいは上1列だけに貼り付けるTIPSを紹介した。その後、ナビゲーター4.0もこのTIPSに対応した。今回のパズルはこれに関連したものになる。左の図を見てほしい。ウィンドウの左上に表示されているのはなんと壁紙。そう、まったく繰り返されないで1枚だけ表示されているのだ。壁紙を使うことで、へたをするとページ全体が読みにくくなることもある。部分的に貼り付けられたらと思ったことはないだろうか。また、繰り返さないですむのなら、タイル化に向かない画像も使えるはずだ。このTIPSでページが華やかになること間違いなし。さあ、チャレンジだ。



3月号を読み返してみよう。あれは確かスタイルシートを……

QUESTION 2 ウィンドウの真ん中に壁紙を表示させる！



1問目が解けたら、もう1ステップ上の壁紙使いをめざそう。左の画像は、同様にページの背景として使用されている。なんとこちらはウィンドウのデスクトップの壁紙と同じように、ウィンドウの中央に1枚だけ表示されているではないか。WWWブラウザのウィンドウをどんなサイズにしても壁紙は真ん中にある。さらに、このページをスクロールさせると、壁紙は中央に固定されたままテキストだけが動く。つまり、好きな画像を背景にして、映画のエンディングのクレジット表示のような見せ方ができるのだ。工夫すればどこにでも貼り付けられるこのテクニック、まずは中央固定表示に挑戦してみよう。



壁紙TIPSはスタイルシートにおまかせ。固定は「fix」だから……



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp